

感性デザイン学科の**学生作品展**を開催!!

2010年8月31日より6日間、広島市内の「galleryG」において、感性デザイン学科・学生作品展「Sprout」が開催されました。この展示会は、感性デザイン学科の学生が主体となり、デザイン系授業での作品やこの展示会のために自主制作した作品など合わせて約100点を展示し、100人以上の来訪者を迎えることができました。事前に学生から実行委員を募り、組織的に会場の運営にあたりました。また、自らの作品を来訪者に直接説明したり、多くの助言をいただくなど周囲の方々に支えられ、貴重な体験をする良い機会となりました。

学生作品展実行副委員長 感性デザイン学科3年 山下千成美



ケイタイ端末でロボットを遠隔操作

～スマートフォン活用セミナーを開催～

今後の携帯端末の主流になると予想されている高機能なスマートフォンを用いてロボットの遠隔操作をする「スマートフォン活用セミナー」が9月16日(木)、呉キャンパスで開催されました。

セミナーは、スマートフォンや使用しているAndroidソフトについての講義や演習を、株式会社NTTドコモや株式会社ナノコネクの担当者から受けた後、実際に参加者各自に与えられたスマートフォンにプログラムを書き入れ、そのスマートフォンで二足歩行ロボットを操作しました。

参加者は本学学生、教職員、学外者あわせて20名で、最後は全員が各自のロボットの動きを楽しむことができました。



学生広報スタッフが誕生しました!!

本学の各種イベントやサークル活動などから学生目線の生の声や情報を収集して、学内外に向けて情報発信をする学生広報スタッフ(19名)が誕生しました。

8月3日(火)に第1回定例ミーティングを開催し、スタッフの自己紹介を行った後、今後の活動内容について意見交換をしました。なお、学生広報スタッフのリーダー兼呉キャンパスのリーダーが五十嵐俊紀さん(機械ロボティクス学科3年)、東広島キャンパスのリーダーが藤原ゆかさん(医療福祉学科4年)に決まりました。

当日は、下久保聖司氏(中国新聞社 東広島支局長)を講師にお招きして、新聞の書き方や情報収集のためには人とコミュニケーションをとることが大切になること、また、大学生活や大学での取り組みはおもしろいことが多く色々なことに興味を持ってもらいたいことなどについてお話をいただきました。

参加した学生広報スタッフのメンバーも活発に質疑をして、新聞記者の心得を勉強しました。

今後は、取材した内容について、大学のホームページに掲載できるよう検討しています。みなさんの取り組んでいることやイベント等の情報がありましたら、学長室企画課(東広島キャンパス1号館7階 Tel: 0823-70-4922)までお知らせください。また、取材にお伺いした際には、ぜひ、ご協力をお願いします。



『リサイクルアート：上海万博の中国 国家館』の模型制作に挑戦しました。

『エコのコエ』は広島県内10大学の環境ネットワーク活動のために、住環境デザイン学科の学生を中心に発足した広島大環境サークルです。過去3年連続で、近隣の三坂地小学校5年生の子供達と一緒に環境活動を行いました。今年、『リサイクルアート：上海万博(10月末まで開催)の中国国家館』の模型制作に挑戦しました。制作メンバーは7名(内、中国留学生5名：発案者)です。

材料は、牛乳パック(呉キャンパスの教職員、学生から約千箱分を収集)を主体として、弁当ケース、爪楊枝などを利用し、補強には9×9mm角材やアクリル樹脂版を使用しました。模型設計時点の6月頃は、ウェブサイトでも予想模型の写真程度しか入手できなかったのが、万博開催後は競って実物写真が多数アップロードされ、「世界で最も実物に近い」模型ができたと自負しています。実物は高さ70m、上部の最大幅138mの巨大なもので、模型は縮尺1/300としました。この模型は、東広島・呉の両キャンパスの大学祭で展示され、多くの来場者から好評を博していました。

